

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.34

調査者	山本 周平、井澤 和夫、加藤 倫卓
情報ソースの刊行日	2020年3月25日
情報ソースの調査日	2020年5月2日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月9日
日本語タイトル	中国武漢市での COVID-19 入院患者における心筋障害と死亡率との関連
情報ソース	Shi S, et al., Association of Cardiac Injury With Mortality in Hospitalized Patients With COVID-19 in Wuhan, China. JAMA Cardiol. 2020 Mar 25
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	アジア(中国)
DOI	10.1001/jamacardio.2020.0950.
URL	https://jamanetwork.com/journals/jamacardiology/fullarticle/2763524
要約	<ul style="list-style-type: none"> 2020年1月20日～2月10日の間に、武漢大学人民病院の入院患者を対象とし、心筋障害と死亡率との関連を解析した単施設コホート研究。 解析対象は、Polymerase Chain Reaction (PCR) 検査で確定診断され、かつ心筋バイオマーカーの測定が行われた416例(年齢中央値64歳、女性50.7%)。 心筋トロポニンI(TnI)値で定義する心筋障害を呈した群82例(TnI中央値0.1 µg/L)と対照群334例(<0.006 µg/L)との予後について比較。 心筋障害群は対照群に比べ、侵襲的人工呼吸管理を必要とする割合と死亡率において有意に高値を示した(それぞれ、22.0 vs. 4.2%、51.2 vs. 4.5%)。 心筋障害群の死亡のリスクは、症状出現からの期間でも、入院時からの期間でも、対照群に比べ有意に高値であった。(それぞれ、Hazard Ratio:4.26、3.41) 心筋障害群のうち心電図が記録された22例は、全例で心筋虚血を示す異常所見(陰性T波、ST下降、Q波)を認めた。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19患者のTnI値は、重要な予後バイオマーカーとなる。 理学療法士は、実際にはTnI値の測定はできない。しかし、心筋虚血を示す異常心電図所見は、重視すべきである。